

レベル別 科目別授業内容

レベル	科目	内容	使用教材
初級 (A1)	総合日本語	会話形式を中心に、学校生活や日常のさまざまな場面で使う基本的な表現を学びながら、実際に起こりうる身近な課題をやり取りを通してこなす練習を行う。短い指示や説明を聞き取り、簡単な質問に応答したり、準備した話題について短い文をつなげて説明したりする力を、対話を通じて身につけさせる。	つなぐにほんご 初級1
	文字・語彙	ひらがな・カタカナについては、清音・濁音・半濁音、拗音・促音・長音を含む文字体系を、なぞり書きや視写練習を通して一文字ずつ正確に読み書きできるよう指導する。あわせて、音声聞いて身近な語彙を書き取る聴写練習や、手書き・デジタル入力の方で正確に文字を処理する練習を行い、文字の運用力を高める。漢字については、画数・筆順の基本原則やへん・つくりなど基本的な字形の組み立てを理解させうえて、画数の少ない基礎的な漢字を正しい書き順で書けるよう段階的に指導する。これらの指導を通して、公的書類への基本情報の記入など、正確さが求められる記入の能力を身につけることを目指す。	自主制作教材 日本語を学ぶ外国人のための これだけは覚えたい！ 漢字練習帳500
	文法	変換練習などを通して、基本語順や助詞、動詞・形容詞の活用など、接続や形の正確さを身につけさせる。品詞ごとの接続の違いを意識させながら、「そして」「でも」「～から」といった基本的な接続表現で簡単な文をつなげ、正確な文で身近な事柄を表現できるよう指導する。	自主制作教材
	作文	身近な事柄について、内容や重要語句、文法事項を確認しながら、短い文を少しずつ組み合わせて文章にしていく練習を行う。句読点を使って文をつなげ、まとまりのある文章に仕上げる力を養う。	つなぐにほんご 初級1
	読解	時間割や配布プリント、掲示物、チラシなど、学校生活で実際に目にする資料を教材に、そこから必要な数字や単語、日時などをピンポイントで探し当てるワークシート演習を行う。文章全体の内容理解ではなく、「必要な情報だけを見つける」読み方に絞って繰り返し練習する。	自主制作教材
レベル	科目	内容	使用教材
初級2 (A2)	総合日本語	会話形式を中心に、日常生活や学校の場面で必要なやり取りを、実際の課題をこなしながら練習する。聞き返しや説明を求める表現を用いて不明点をその場で確認する力や、理由を添えながら身近な事柄をよどみなく説明する力を、対話を通じて身につけさせる。	つなぐにほんご 初級2
	文字・語彙	学校生活に必要な基礎漢字について、正しい字形で書けるようにするとともに、意味を理解して対応する語と結びつけ、音読み・訓読みなど文脈に応じた読み方で読めるよう指導する。あわせて、前後の文脈や図表・写真などの視覚情報をヒントに、未知語の意味を推測する方略を身につけさせ、基礎的な漢字・語彙を実際の場面で運用しながら、未知の語彙にも自力で対応できる力を養う。	日本語を学ぶ外国人のための これだけは覚えたい！ 漢字練習帳500 自主制作教材
	文法	文章ややり取りの例から文法ルールに気づかせ、依頼・提案など目的に応じた文末形式の使い分けを、形に注目しながら正確に運用できるよう指導する。あわせて、理由・順序を表す複文や簡単な条件文の組み立て、意見・希望・推量を表す表現の使い分けを、形式の正確さを重視した練習を通して身につけさせる。	JLPT文法 N4 ポイント＆プラクティス
	作文	経験した日常の出来事を、起こった順序に沿って簡単な感想を交えながら文章にまとめる練習を行う。あわせて、感謝・謝罪・連絡事項など場面に応じた定型表現を選び、SNSや短いメモでメッセージを書く練習を行い、身近な場面で実際に使う書く力を身につけさせる。	身近なテーマで伝える！ にほんご作文トレーニング [初中級 (A2-B1)]
	読解	地域の掲示やチラシ、店舗サイトなど複数の資料を見比べ、自分の目的に合う情報を選び出す演習を行う。図表や写真付きの解説文についても、本文を読み込む前にまず図表から内容の見当をつけさせるなど、視覚情報が手がかりに要点をつかむ読み方を指導する。	JLPT読解 N4 ポイント＆プラクティス 自主制作教材

レベル	科目	内容	使用教材
初中級 (B1)	総合日本語	会話だけでなく、読む・聞くなど複数の技能を組み合わせたタスクを、ピアワークを中心に協働してこなしていく練習を行う。身近な社会的・学習的トピックについて、情報を整理しながら自分の考えを伝えたりまとめる力を、様々なタスクの積み重ねを通して養う。	つなぐにほんご 初級2 タスクベースで学ぶ日本語 中級 1
	文字・語彙	接頭辞・接尾辞の意味・機能や、漢字の部首・構成要素についての知識を活用し、未知語・未知の漢字語の意味を推測する力を指導する。推測した未知語は自ら記録し、整理・蓄積する習慣づけも行う。辞書に頼らず語彙知識を手がかりに未知語へ対応し、語彙を自律的に広げていく力の育成を目指す。	日本語を学ぶ外国人のための これだけは覚えたい！ 漢字練習帳500
	文法	場面や文脈に応じて条件表現や、理由・対比・並列・例示などの接続表現を使い分ける練習を重ね、複数の事柄を関連づけながら論理的にまとめた文章を組み立てる力を養う。あわせて、教師のフィードバックを通じて自分の誤用の傾向を意識化し、次の産出に生かしていく姿勢を育てる。	JLPT文法 N3 ポイント＆プラクティス
	作文	文章を書く前に構成メモを作り、内容を段落ごとに整理したうえで、1段落1トピックを意識して書き進める練習を重ねる。段落同士のつながりが自然になるよう接続表現や指示語の使い方を確認し、書き終えた文章はチェックリストを用いて自分で読み返し、推敲する習慣を身につけさせる。	身近なテーマで伝える！ にほんご作文トレーニング [初中級 (A2-B1)]
	読解	本文を読む前に見出しやトピックセンテンスに目を通させ、要点のありかを予測してから読む、という手順を型として指導する。時刻表や募集要項のような情報量の多い実用文書では、必要な箇所だけを狙って探す練習を、同じテーマの複数の文章を並べて比較する演習では、書き手ごとの立場・視点の違いを見つけさせる練習を行う。	JLPT読解 N3 ポイント＆プラクティス 自主制作教材
	口頭表現	準備した話題についてのスピーチを通して、声量や区切りを意識しながら最後まで話し切る練習や、話に詰まったときに相槌・言い換えて乗り切る練習を積み重ねる。ディベートやディスカッションでは、クッション言葉を使って丁寧に発言権を得る、理由や対比を示しながら論理的に話すといった型を意識させ、序論・本論・結論を意識した意見表明や、相手の意見を要約したうえで自分の考えを返すやり取りへと発展させていく。	留学生のためのディスカッショントレーニング
	聴解	身の回りの説明やインタビューなどの音声素材に、数字や固有名詞など必要な情報を的確に聞き取る聞き方と、話の全体像や構成をつかみながら理由・結論を聞き分ける聞き方の両方を練習する。あわせて、聞き取れなかった語句・表現の意味を前後の文脈から推測する練習を重ね、内容全体をつかみ続けられる力を養う。	改訂版 聴くトレーニング 〈聴解・聴読解〉基礎編 日本留学試験対応
レベル	科目	内容	使用教材
中級 (B2)	総合日本語	ピアワークを中心とした複数技能統合型のタスクに取り組みながら、アカデミックな話題や課題も扱い、日常生活を超えた場面での日本語使用を目指す。専門的・抽象的な話題について、論理的に発信・記述する力を、タスクの実践を通して養う。	タスクベースで学ぶ日本語 中級 2
	文字・語彙	分野横断的な基礎アカデミック語彙について、文体・敬語の方向性や使用場面に照らして適切な用法を判別できるよう指導する。あわせて、進学希望分野に関連する専門用語や、である体・ます体などの文体を、場面や目的に応じて適切に選択し正確に使用する力を養う。専門分野の学習を通じて新たな語彙を継続的に習得し、自分の語彙知識を自律的に広げていく姿勢を育てる。	日本語を学ぶ外国人のための これだけは覚えたい！ 漢字練習帳500
	文法	自らの産出した文章を見直し、助詞の誤用や活用の誤り、文体の不統一・不自然な表現を自力で見発見・修正する、自己点検型の練習を中心に行う。文法知識を「知っている」段階から「使いこなすを自ら検証できる」段階へと引き上げ、産出の精度を自律的に高めていく力を養う。	JLPT文法 N2 ポイント＆プラクティス
	作文	複数の資料を読み比べて得た情報を整理・比較しながら、序論・本論・結論の構成で、事実と意見を区別した論理的なレポートを書く練習を行う。書き上げた文章は、自ら反論を想定したり他者からの指摘を受けたりしながら見直し、論理や内容を客観的に点検・修正するプロセスを重視する。	日本留学試験 記述 ポイント＆プラクティス
	読解	論説文・報告文・実用文などジャンルや読む目的に応じて、精読・スキミング・スキニングを適切に使い分ける演習を行う。複数資料の比較読解、グラフ・表を含む報告書の読解、手順書からの正確な情報抽出など、実務的な文章を素材にした演習を重ねる。専門分野の資料では、辞書や参考資料を使いながら未知の専門用語を含む文章を読み進める力を養う。	日本留学試験 読解 ポイント＆プラクティス 自主制作教材
	口頭表現	専門的・抽象的なテーマについてのスピーチを通して、論点の全体像を示しながら体系的に話す練習を重ね、聞き手からの質問に対して専門的な不明点を的確に説明したり、聴衆の知識レベルに応じて言い換えたりする力を養う。ディベートやディスカッションでは、対立する立場を踏まえて折衷案を提示する、複数の発言を比較・整理して自分の考えを位置づけるなど、その場で議論を調整・主導する力を、実際の討論形式の演習を通して身につけさせる。	留学生のためのディスカッショントレーニング
	聴解	専門的・抽象的な講義や議論の音声聞きながらメモを取り、数値やデータが議論の中でどのような意味を持つかを整理する練習を行う。メモをもとに軽いディスカッションをしたり、要約した内容をペアで確認し合ったりしながら、話題が変化しても要点を見失わずに聞き続ける力や、複数の話者の主張・論拠を区別して展開を追う力を養う。あわせて、聞き取れない語句があっても聞き返さずに文脈から意味を推測し、自然な速度の音声を理解し続けられる力を身につけさせる。	改訂版 中級からはじめるニュースの日本語聴解40